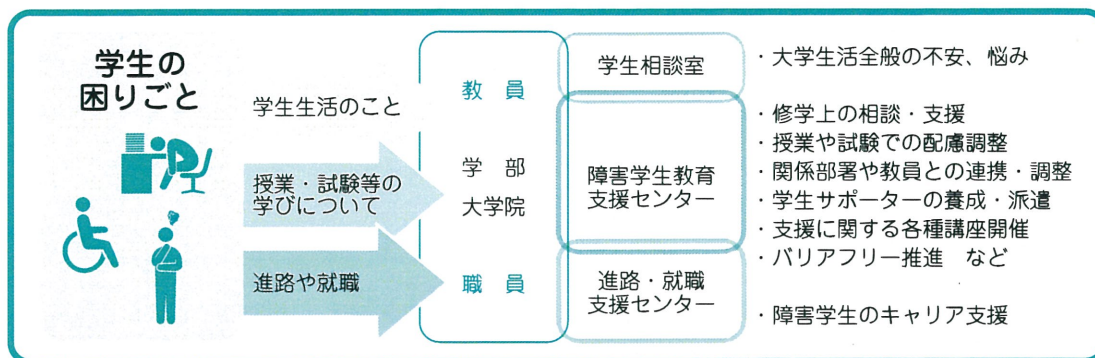


障害などによる修学上の困りごとや悩みが生じたら…

● 障害学生教育支援センターへ

障害学生教育支援センターでは、専門スタッフが、障害があるなどの理由により、学ぶ上での困りごとや悩み・不安を抱える学生の相談に応じています。所属学部や教員、関係部署（学生相談室、進路就職支援センター等）との連携・調整をおこない、情報保障などのサポートを担う障害学生支援サポーター（学生サポーター）を養成・派遣しています。個人情報や許可なく第三者に伝えることはありませんので、気軽にご相談ください。



● 障害学生支援サポーターって？

障害学生教育支援センターでは、障害のある学生への修学支援の一端を担う「障害学生支援サポーター」（学生サポーター）を養成・派遣しています。学生サポーターは、自分の授業空き時間を利用して、おもに情報保障・製作に関するサポートを担当しています。2016年度は約70名の学生サポーターが活躍！責任ある仕事として給与を支給しています。サポーターになるには、春・秋各学期はじめの説明会・養成講座に参加して基礎スキルを習得してもらう必要があります。

学生サポーター（PCテイカー）より

私は3年次生の春学期からPCテイカーになりました。養成講座を受けたときは、入力と共に常にいろいろなことを意識するのに苦戦し、自分には厳しいのかなと感じました。しかし、実際に授業に入るとつれて仕事に慣れていき、入力速度もさらに速くなったと思います。

自分の得意なことで障害を持つ学生のサポートができることは嬉しいことですし、自信になります。今は1年次生のごころから始めておけばよかったな、と思うばかりです。サポーターになることを迷っている方は、思い切って挑戦することをお勧めします！最初は先輩サポーターの支えもあるので、安心して取り組みますよ(^_^) 経営学部 関野々花

サポート利用学生より

私は「感音性難聴」という周りの音や言葉が聞き取りづらいという聴覚障害を持っています。そのため、先生が講義中、何を言っているのか聞き取りにくいのでPCテイクを受けています。聴覚障害学生にとって、PCテイクのような情報保障は、音声で把握することが出来ない様々な情報を伝えてくれる手段であり、大学生活を送る上で欠かせない大切なサポートです。また、聴覚障害学生やサポーターさんと交流することで友達が増えたり、お互いに学び合い高め合うことが出来ます。ぜひPCテイクに興味のある方はご協力をお願いします。 経営学部 一色 さえ

サポート活動内容

● 情報保障サポート

- ・PCテイク - パソコンによる文字通訳
主に聴覚障害の学生の授業支援
- ・ポイントテイク - 板書の書き写しや要点整理
弱視（視覚障害）、発達障害、高次脳機能障害のある学生への授業支援

● 情報製作サポート

- 授業資料の点訳印刷、テキストデータ化、映像の文字起こし等

● 移動サポート

- 車イスを利用する学生や視覚障害のある学生の学内移動補助

お問い合わせは…

障害学生教育支援センター（3号館1F）

開室時間 平日 8:45～16:30 (13:00～14:00は昼休み)
土曜 8:45～12:00

Tel: 075-705-1981 Fax: 075-705-2946

Mail : shogai-support@star.kyoto-su.ac.jp